



月を吐出さずや初の良哉  
もとまの梅ふてそき松芥  
むつまじく照らすとくそ日取  
和報  
廣

脛高き膝や余寒をまらぬあり  
晴く日を暮すに知らずは峰の雛子  
いさみあふ木このそそぐやそつゑ  
松由  
可

き乃ふふと心乾日なり梅のむ  
扇生侍傍子並つてきそそめ  
あらあく梅あけと影梅子希利  
管外  
岩芝  
峯庭

なからぬ致うちやまをの白と梓  
福引の小櫃ふましく度りくま  
燵のまよ育はめあり福壽竹  
北水  
素海

梅ふまると七くはる人そそき理  
いさくうねねおれりてむの爽  
田作りや何子添くても添へら致く  
西巷  
晴江

うき此まの白えさそそき  
十み日くつやまといとのそそ月  
太浦  
女坡

巳り春

昔の筆を連

